

ラバーダム操作に伴うアユモドキ救出活動状況報告について

1. 令和元年度ラバーダム立上げ（令和元年 6 月 5 日）に伴う救出活動

農業用灌漑施設であるラバーダムの立上げに伴い、産卵に適した上流に遡上できなくなるアユモドキを救出、調査しました。環境省による生息域外保全事業のためのファウンダー採取も行われました。

■ラバーダムの操作及び水位変動について

◇ラバーダムの操作は、午前 4 時 30 分から注水を開始しました。令和元年 5 月 19 日に既設吸水管を取り換えたことにより順調に立ち上がり、最終的に午前 11 時に注水を停止しました。

◇水位の変動は、注水開始前の 15cm から、救出活動を開始した午前 8 時 15 分には 120cm、当日の最終確認である午後 5 時 15 分には 170cm まで上昇しました。

■救出活動について

亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会を中心に、約 70 人が参加し、当日は 64 尾のアユモドキを保護しました。救出活動はラバーダム下流部が一時的に濁水した午前 8 時 15 分から 9 時 50 分までの間に実施し、生息域外保全事業調査に供された 10 尾を除く 54 尾をラバーダム上流に放流しました。

■生息域外保全事業調査について

午前 4 時 30 分から行われ、最終的にはファウンダーの調査及び救出活動で保護した 64 尾のうち 10 尾（雌 4 尾、雄 6 尾）をファウンダー候補とされました。

■6 月 5 日、救出活動の様子



2. 中干し時のアユモドキ救出（調査）活動について

令和元年7月17日、亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会主催による中干しに伴うアユモドキ救出活動を実施しました。今年度の中干し期間中は土地改良区の判断により、ラバーダムの操作はされず160cmの水位を保っていただいたところであり、各水路において大きな水位の変動はありませんでした。

当日は、約30人が参加し、 $\alpha 2$ 水路において10尾のアユモドキを確認することが出来ました（平成30年度は3尾）。確認箇所は、 $\alpha 2$ 水路区間1で成魚1尾、稚魚期（中期）8尾、 $\alpha 2$ 水路区間6で稚魚期（中期）1尾です。

なお、救出活動は $\alpha 2$ 水路及び $\alpha 5$ 水路のみで実施し、 $\alpha 3$ 水路、 $\alpha 4$ 水路、 $\alpha 6$ 水路は水位が高く救出活動は実施しませんでした。

また、 $\alpha 2$ 水路と $\alpha 5$ 水路、 $\alpha 3$ 水路の一部については、中干し調査前に草刈りを実施しました。水路に落ちた草はレーキで回収済みです。

救出活動の様子



中干し時の救出活動（他魚種内訳）

種類名	$\alpha 2$ 水路	$\alpha 5$ 水路	計
コイ	37	13	50
ニゴイ属	9		9
フナ類	36	10	46
オイカワ	34	3	37
ヌマムツ	47	5	52
タモロコ	40	37	77
カマツカ	2	2	4
ドジョウ科		1	1
チュウガタスジシマドジョウ	76	4	80
メダカ類	9		9
カワヨシノボリ	7		7
ギギ	1		1
ナマズ	3	1	4
計	301	76	377